

平成 31 年 1 月 17 日
東 北 経 済 産 業 局

平成 30 年度「エネルギー使用合理化シンポジウム東北」の御案内

東北経済産業局では、平成 31 年 2 月 14 日（木曜日）仙台市内において、事業者の皆様の更なる省エネルギー推進の参考としていただくため、平成 30 年度「エネルギー使用合理化シンポジウム東北」を開催します。

シンポジウムでは、東京大学金子祥三研究顧問より、我が国の省エネルギー政策の方向性に御講演いただくとともに、省エネルギー政策の方向性や関連予算・支援策についても情報提供します。

また、当日は東北地域においてエネルギーの使用合理化に関し顕著な成果があった工場等及びエネルギー管理功績者、再生可能エネルギーの利活用により地域に貢献した優良事例、並びにカーボン・オフセットの模範的・積極的な取組に対する表彰式も併せて開催し、シンポジウムにおいて、一部受賞者による事例発表も行います。

皆様の積極的な御参加をお待ちしております。

1. 開催日時・場所

日時：平成 31 年 2 月 14 日（木曜日）12：30～16：30（受付開始 12：00～）

場所：仙台市太白区文化センター楽楽楽（ららら）ホール

（〒982-0011 宮城県仙台市太白区長町 5-3-2、電話：022-304-2211）

2. プログラム

(2) 平成 30 年度東北地域省エネルギー月間表彰式（12：30～）

- ① 東北再生可能エネルギー利活用大賞
- ② エネルギー管理優良事業者等及び同功績者表彰
- ③ 東北地域カーボン・オフセットグランプリ

(2) 平成 30 年度エネルギー使用合理化シンポジウム東北（13：30～）

① 基調講演「日本の省エネ技術が世界を救う」

講演者：東京大学 生産技術研究所 研究顧問 金子 祥三氏

② 受賞者事例発表

講演者①：富士電機津軽セミコンダクタ株式会社（エネルギー管理優良工場）

講演者②：キヤノンプレジジョン株式会社（エネルギー管理優良事業者）

講演者③：株式会社花巻バイオマスエナジー（東北再生可能エネルギー利活用大賞）

③ 施策説明「我が国における省エネルギー政策の動向について（仮）」

講演者：経済産業省 資源エネルギー庁 省エネルギー課

3. 申込方法

下記の申込みフォームから必要事項を入力し、お申込みください。

※参加受付は終了いたしました[2019.2.14更新]

【本件にかかるお問い合わせ先】

東北経済産業局 エネルギー対策課長 川嶋 孝

担当：鈴木、河村

電話：022-221-4932（直通）

F A X：022-213-0757



平成30年度

エネルギー使用合理化 シンポジウム東北

参加
無料

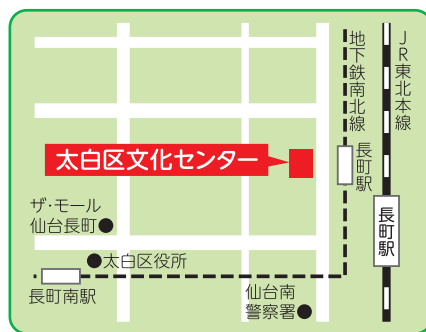
定員
300名

同時開催 平成30年度 東北地域省エネルギー月間表彰式

日時：平成31年**2月14日(木)**
12:30～16:30(12:00より受付開始)

会場：仙台市太白区文化センター
楽楽楽(ららら)ホール

〈仙台市太白区長町5-3-2〉
仙台市営地下鉄南北線 長町駅 南1番出口 直結
JR東北本線 長町駅 徒歩3分



企業・団体等の経営者・管理職やエネルギー管理の担当者を対象に、エネルギー使用合理化の参考にさせていただくため、工場・事業所における優れた取組事例、我が国の省エネルギー政策の方向性や関連予算・支援策等をご紹介しますシンポジウムを開催します。

第1部 平成30年度東北地域省エネルギー月間表彰式 (12:30～13:25)

休憩

基調講演・事例発表① (13:30～15:00)

第2部

演題「日本の省エネ技術が世界を救う」

講演者：東京大学生産技術研究所 研究顧問 金子 祥三 氏

受賞者事例発表①…エネルギー管理優良工場等 受賞

富士電機津軽セミコンダクタ 株式会社

休憩

事例発表②③・政策説明 (15:15～16:30)

第3部

受賞者事例発表②…エネルギー管理優良事業者 受賞

キャノンプレジジョン 株式会社

受賞者事例発表③…東北再生可能エネルギー利活用大賞 受賞

株式会社 花巻バイオマスエナジー

政策説明……………「我が国における省エネルギー政策の動向について(仮)」

講演者：経済産業省 資源エネルギー庁 省エネルギー課

参加申込方法 〉 参加を希望される方は、東北経済産業局HP(申込フォーム)、または、FAX(裏面参照)でお申込みください。定員に達した場合は、参加いただけない場合がございますので、予めご了承ください。

お問合せ先 〉 東北経済産業局エネルギー対策課 ☎022(221)4932

基調講演者プロフィール



東京大学 生産技術研究所 研究顧問 **金子 祥三氏**

プロフィール

東京大学工学部機械工学科を卒業後、三菱重工業株式会社に入社し、主としてボイラを中心とする火力発電プラントの設計に従事するかたわら、低NOxバーナ、排煙脱硝装置、燃料電池(PAFC,PEFC,SOFC)、太陽電池(アモルファス薄膜)、流動床ボイラ、超超臨界圧ボイラ(USC)、石炭ガス化複合発電(IGCC)などの研究開発に従事。ボイラ技術部長、取締役原動機副事業本部長などを歴任し、取締役技師長で退任。

その後国内の電力10社により設立された(株)グリーンコールパワー研究所に入社し、取締役副社長としてIGCC実証機25万KWの設計・建設・運転の技術を統括し、平成20年6月退社。

平成20年9月から平成27年8月まで東京大学生産技術研究所特任教授。平成29年4月より現職。

この間、日本機械学会賞(技術賞)3度受賞。工学博士。日本機械学会フェロー。

平成30年度エネルギー使用合理化シンポジウム東北のお申込み方法

Webの場合

東北経済産業局HPから参加申込みフォームに必要事項を入力し、送信してください。

http://www.tohoku.meti.go.jp/s_shigen_ene/syo_energy/topics/pdf/190117.pdf

FAXの場合

下の申込書にご記入の上、FAXしてください。

平成30年度 エネルギー使用合理化シンポジウム東北 参加申込書

FAX 022(213)0757 〈東北経済産業局エネルギー対策課 行〉

企業・団体名			
連絡先	住 所		
	電 話	FAX	
	電子メール	@	
参加者名	氏 名	(ふりがな)	所属・役職
	()		
	()		
	()		
	()		

●参加申込みいただいた内容は、個人情報保護に関する法令にのっとり厳正に管理し、本シンポジウムの運営事務に関する目的以外には使用いたしません。

●聴講券は発行いたしません。シンポジウム当日、受付にてご氏名をお伺いいたします。